事　務　連　絡
平成３０年１月２４日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課　御中
各都道府県私立学校事務主管課
附属学校を置く各国公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

平成２９年度環境教育リーダー研修基礎講座の実施について（依頼）

このたび、教職員、教育委員会関係者、地方公共団体の環境教育担当者等を対象とした環境教育に関する研修会を別添の実施要項により、追加実施することになりましたのでお知らせいたします。

都道府県教育委員会におかれては域内の市区町村教育委員会及び所管の公立学校に対し、指定都市教育委員会におかれては所管の公立学校に対し、都道府県におかれては所轄の私立学校に対し、国公立大学法人におかれては管下の附属学校に対し、周知方よろしくお願いします。

岩手県
30.1.26
法学第　号

＜文部科学省連絡先＞
文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第二係（岡村、荻野、吉田）
TEL　：03-5253-4111（内線2613）
FAX　：03-6734-3734
E-mail:kyoiku@mext.go.jp

平成29年度 教職員・地域環境活動リーダーのための環境教育実践力強化研修

～持続可能な社会の担い手育成に向けた次世代の環境教育・ESDを学ぶ～

実施要項

（主催：環境省　協力：文部科学省）

【募集要項】

1　研修の趣旨

環境教育の歴史は古く、国際社会においてその目的等が整理されたのは、1977年のトリビシ宣言であり、今年で40年目の節目を迎えます。我が国の環境教育は、公害教育や自然保護教育に端を発し、2006年の教育基本法改正により、教育の目標の一つとして「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」が明記され、2011年の環境教育推進法改正（現：環境教育等促進法）により、環境教育は、持続可能な社会の構築を目指して、家庭、学校、職場、地域のあらゆる場において「未来を創る力」「環境保全のための力」を育むことがその役割であると整理されています。

今日の環境問題は、気候変動、生物多様性の保全など、その発生機序が複雑化し、解決策も一様ではありません。環境教育の実践においても、環境問題を人口・貧困・経済・科学技術・生産・消費・健康・福祉などとのつながりの中で捉えるとともに、「持続可能な開発のための教育（ESD）」や「持続可能な開発目標（SDGs）」との関連を意識しつつ、国民一人ひとりが持続可能な社会の担い手となるよう、新学習指導要領で示される「主体的・対話的で深い学び」を実践していく必要があります。

本研修は、こうした時代の変化を踏まえつつ、環境教育・学習を実践する教員、行政、企業、NPO関係者等を対象として、次世代の環境教育を実践する力を養うことを目的とするものです。

2　研修の内容

環境教育は、発達段階に応じて、学校のみならず、家庭、職場、地域といったあらゆる場で実践されるものです。本年度は、以下２つのコースを設けました。

① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース

学校現場では、「持続可能な社会の構築」に向けた様々な教育が実践されており、環境教育とは言わずとも、その目的に「環境の保全」という視点が含まれているものが多くあります。

このコースでは、ESD、SDGs、新学習指導要領など最新のトピックとの関連を踏まえて、環境教育の考え方を捉え直し、学校現場でより効果的・効率的に子ども達の「生きる力」を育むカリキュラムをデザインするための実践的なノウハウを学びます。

ESDは、環境教育を土台として発展してきた経緯があり、育むべき資質・能力は共通してい

ます。環境教育やESDには、理科、社会、総合的な学習の時間で行うというイメージがありますが、国語、美術、音楽といった科目にもその要素が盛り込まれていますし、教育課程全体での取組が重要となります。現在、学校現場で環境教育に取り組まれている教員の方のみならず、人権教育、消費者教育、国際理解教育、キャリア教育、防災教育、森林教育、海洋教育など、「持続可能な社会の担い手育成」という観点からのカリキュラムづくりに関心のある教員の方のご参加を歓迎します。

なお、教員以外の方の参加も可能ですが、学校のカリキュラムにどう落とし込んでいくかという具体的な演習を行うため、参加動機・実務経験等によってはお断りをさせていただきます。その点、ご了承ください。

② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース

環境教育を「環境問題に関する知識を理解させること」「生き物とふれあうこと」と認識している方も多いですが、持続可能な社会の構築に向け、そこで得た知識や体験を「社会づくり」という大きな一歩に繋げるためには「場づくり」が重要となります。

このコースでは、科学的な知見を基に、大人や子どもの主体的な交流や学習を促す体験の場づくりに必要となる理論的な基礎や実践のノウハウを学びます。

地域において、自然や施設等を活用して環境教育・学習を実践する方（学校、企業、行政、社会教育施設、NPO等）が対象となります。「子ども達の体験活動を充実させたい。」「環境学習の場に地域創生の視点を組み込みたい。」「自分が話すのは苦手だけど、地域で学びの場を創りたい」という方のご参加も歓迎します。

なお、グループワークを中心とする構成のため、参加動機によってはお断りをさせていただきます。その点、ご了承ください。

3 日程と会場および定員

※非常に多くの方からお申し込みをいただきましたので、東京会場の追加申し込みを行います。

滋賀会場	日時：平成29年8月5日（土）（終了） ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：ピアザ淡海（滋賀県大津市） 共催：滋賀県
宮城会場	日時：平成29年9月9日（土）（終了） ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：宮城教育大学（宮城県仙台市青葉区） 共催：宮城教育大学
東京会場	日時：平成29年11月18日（土）（終了） ① ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 10:00～17:00 ② ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 12:30～17:00 会場：東京都立つばさ総合高校（東京都大田区）

	＜以下、追加募集分＞ 日時：平成30年2月12日（月・祝日）12:30～17:00 ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 会場：新宿NSビル・３M会議室（東京都新宿区） 日時：平成30年2月17日（土）10:00～17:00 ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース 会場：新宿NSビル・３M会議室（東京都新宿区） 日時：平成30年3月4日（日）10:00～15:30 ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース 会場：晴天の場合　　：佐川急便高尾100年の森（東京都八王子市） 　　雨天・雪の場合：高尾の森ワクワクビレッジ・研修室2（東京都八王子市）

【定員】環境教育カリキュラム・デザイン・コースの定員は50名、環境教育プログラム・デザイン・コースの定員は40名とさせていただきます。
先着順に受付け、定員になり次第、締め切りとします。

4　研修プログラム ＜追加募集分＞ ※内容等は、変更となる可能性があります。

＜2/12＞　ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース

12:30-12:45	開会／ガイダンス
13:00-14:00	講義「次世代の環境教育（仮）」
14:15-16:30	ESD・環境教育プログラム・デザイン演習 地域や職場等で環境に関するイベントや研修を企画しても、参加者が固定化されていたり、自分が思うような成果が得られないといった課題を抱えている方は少なくないと思います。 今回の演習では、環境省と「体験の機会の場」研究機構の協働取組等により得られた知見をご紹介しつつ、体験プログラムの実効性を高める仕掛けづくりについて学びます（学校行事や企業の社員教育にも応用できるようなノウハウをご紹介することを考えています。詳細はホームページをご覧ください。）
16:30-17:00	振り返り
17:00	解散

<2/17>ESD・環境教育カリキュラム・デザイン・コース

10:00-10:15	開会／ガイダンス
10:15-12:00	イントロダクション「次世代の環境教育」 ・環境教育の成り立ち、学校教育における歴史的な展開、環境教育等促進法、そしてESDやSDGsとの関連を踏まえながら、環境教育を捉え直します。 ・学校現場における環境教育において、なぜ「カリキュラム・デザイン」が必要となるのかについて、新たな学習指導要領の考え方を踏まえながら説明をするとともに、午後の演習の導入を行います。
12:00-13:00	昼休憩
13:00-16:30	ESD・環境教育カリキュラム・デザイン演習 ・持続可能な社会の担い手育成のために、学校教育においてどのようなカリキュラムをデザインすべきか、その実践的なノウハウについて、グループワーク「ESDカレンダーづくり」等を通じて学びます。
16:30-17:00	振り返り～演習の成果を学校現場で実際にどう生かすか～
17:00	解散

<3/4>　ESD・環境教育プログラム・デザイン・コース

晴天の場合

10:00	高尾駅北口付近に集合 ・貸切バスで移動（一部徒歩の場合有り）
11:00-11:15	佐川急便100年の森到着 ・開会式／ガイダンス
11:15-12:15	講義「次世代の環境教育（仮）」
12:15-13:00	昼食
13:00-14:30	ESD・環境教育プログラム・デザイン演習 　地域や職場等で環境に関するイベントや研修を企画しても、参加者が固定化されていたり、自分が思うような成果が得られないといった課題を抱えている方は少なくないと思います。 　今回の演習では、環境省と「体験の機会の場」研究機構の協働取組等により得られた知見をご紹介しつつ、体験プログラムの実効性を高める仕掛けづくりについて学びます（学校行事や企業の社員教育にも応用できるようなノウハウをご紹介することを考えています。詳細はホームページをご覧ください。）
14:30	解散 ・高尾駅北口付近15：30着予定

雨天の場合

10:00	高尾駅北口付近に集合 ・貸切バスで移動
10:30-10:45	高尾の森わくわくビレッジ到着 ・開会式／ガイダンス
10:45-11:45	講義「次世代の環境教育（仮）」
11:45-12:30	昼食
12:30-14:00	ESD・環境教育プログラム・デザイン演習 　地域や職場等で環境に関するイベントや研修を企画しても、参加者が固定化されていたり、自分が思うような成果が得られないといった課題を抱えている方は少なくないと思います。 　今回の演習では、環境省と「体験の機会の場」研究機構の協働取組等により得られた知見をご紹介しつつ、体験プログラムの実効性を高める仕掛けづくりについて学びます（学校行事や企業の社員教育にも応用できるようなノウハウをご紹介することを考えています。）
14:00	解散 ・高尾駅北口付近 14：30 着予定

5　担当講師（※五十音順）

池田　怜司　氏　環境省大臣官房環境教育推進室　室長補佐
石田　好広　氏　目白大学人間学部児童教育学科　教授
小澤　紀美子 氏　東京学芸大学　名誉教授
棚橋　乾　　氏　東京都多摩市立連光寺小学校　校長
　　全国小中学校環境教育研究会　副会長

ほか

6　申し込み方法

研修事務局のホームページにある「お申込みフォーム」に必要事項をご記入のうえ、送信してください。お申し込みが完了したら、自動返信でメールが届きます。
http://www.jeef.or.jp/activities/esd_teacher/

※オンライン申し込みが出来ない、うまくいかない場合は、
＜FAXによる申し込み＞

所定の「申込用紙」に必要事項をご記入のうえ、研修事務局までFAXにてお申し込みください。
FAX :03-5834-2898
「申込用紙」は研修事務局のホームページからダウンロードができます。

＜申込み期限＞

各研修開催日の１週間前まで。
※ 先着順での受付とし、定員に達し次第、募集を締め切ります。受講の可否については、後日メールにてお知らせいたします。

＜研修受講前の準備について＞

事前に資料を作って頂く等の課題を予定しております。詳細については、申込み後に送付する「研修のしおり」をご参照ください。

＜その他＞

受講料は無料です。
研修会場までの交通費や昼食、宿泊費等は自己負担となります。

お問い合わせ

＜研修運営事務局＞　（公社）日本環境教育フォーラム内
担　当　小堀
TEL: 03-5834-2897　MAIL: esd-kenshyu@jeef.or.jp
FAX: 03-5834-2898